

## 施設のご案内

彦根城博物館では、代々彦根藩主であった井伊家に伝わった、“ほんもの”の美術工芸品や古文書などを収蔵・展示しています。また、藩の政庁であった表御殿を復元した館内では、能舞台のほかにも、江戸時代さながらに再現した藩主の居間や茶室、庭園をご覧いただけます。

### ミュージアムショップ

展示図録、各種ミュージアムグッズを販売しています。お気軽にお立ち寄りください。



### 貸し館 利用案内

彦根城博物館では、施設の一部を催し物の場として利用することができます。当館の趣きあふれる雰囲気を感じながら、伝統芸能や文化活動、各種会議等にご利用ください。

使用場所	時間	午前	午後	全日
能舞台		17,400円	20,900円	34,500円
木造棟		11,600円	13,900円	23,000円
講堂		1,700円	2,000円	3,500円

※ただし、冷暖房料および設備・器具使用料等については、別に定めています。



詳しくは、彦根城博物館管理課(0749-22-6100)までお問い合わせください。

### お茶席

落ち着いた雰囲気の中、能舞台を身近に眺めながらゆっくりとご休憩いただけます。薄茶一服 500円(季節の生菓子付き)



開館時間 8:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 12月25日(金)~12月31日(木)

展示替のため、7月7日~9日、8月19日~20日、9月15日~17日、10月21日~22日、11月24日~26日、12月24日、2月2日~4日、3月9日~10日は、一部の展示室を閉室しています。その他、当館の都合により、ご観覧エリアの一部を閉鎖することがあります。

観覧料 ◇彦根城博物館のみの観覧券

一般500円 小中学生250円

【展示替時/一般300円 小中学生150円】

◇彦根城博物館・彦根城・玄宮園のセット券

一般1,000円 小中学生350円

◇団体(30名様以上)割引等あり

アクセス ◇JR東海道本線・近江鉄道「彦根駅」から徒歩15分

◇名神高速道路「彦根インター」から車で10分  
近隣の市営駐車場等をご利用ください。

平成27年6月1日(月)再オープン

空調設備等改修工事のため、平成27年5月31日まで臨時休館



彦根城博物館 Hikone Castle Museum

〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町1番1号 TEL.0749-22-6100 FAX.0749-22-6520  
<http://hikone-castle-museum.jp/> 展示内容などは変更する場合があります。詳しくは当館ホームページでもご案内しています。

「歴史・文化・自然」の宝庫 彦根城はユネスコの世界遺産暫定リストに登録されており、世界遺産を目指しています。



井伊直弼公  
生誕200年祭  
2015年7月10日~12月23日

井伊直弼画像  
清原寺蔵

# HIKONE CASTLE MUSEUM EXHIBITIONS 2015-2016

平成27年 6月1日(月)再オープン

※空調設備等改修工事のため、平成27年5月31日まで臨時休館

テーマ展

## 大坂の陣400年 「彦根藩士たちの大坂夏の陣」

平成27年6月1日[月]～7月7日[火]

徳川方・豊臣方の最終決戦となった大坂夏の陣において、井伊直孝率いる「井伊の赤備え」部隊の活躍は徳川方勝利の原動力となりました。本展では、「赤備え」を構成する彦根藩士達の姿を紹介します。



大坂夏の陣図(若江合戦図-部分)

特集展示

### 「彦根藩井伊家歴代の甲冑」

平成27年6月1日[月]～7月7日[火]

彦根藩井伊家の軍装は、朱で統一した「井伊の赤備え」で広く知られています。本展では、初代直政に始まる歴代とその子弟の甲冑の数々を公開。井伊家伝来の甲冑が見せる堂々とした姿をご覧ください。

朱漆塗継承威遠足 藤取二枚胴具足 (2代直孝所用)



朱漆塗伝二枚胴具足 (初代直政所用)



朱漆塗継承威遠足 藤取二枚胴具足 (初代直政所用)

## 能・狂言のご案内

博物館の中央に、江戸時代(約200年前)に建てられた彦根城表御殿能舞台が現存します。

毎年、この能舞台では能と狂言を開催し、能楽師による「ほんもの」の古典芸能に触れることができる機会として、皆様からご好評をいただいております。

チケット 6/1 発売予定

彦根城表御殿  
水無月狂言の集い  
6月27日[土] 午後6時30分開演

正面席【A席】3,500円/脇正面席【B席】3,000円(全席指定)

- ◆大蔵流狂言「墨塗」 茂山あきら
- ◆大蔵流狂言「千鳥」 茂山 茂
- ◆大蔵流狂言「蝸牛」 茂山千三郎

チケット 8/22 発売予定

第49回  
彦根城能  
9月22日[火・休] 午後3時30分開演

正面席【A席】5,500円/脇正面席【B席】5,000円(全席指定)

- ◆喜多流素謡「筑摩江」 高林白牛口二
- ◆大蔵流狂言「鬼ヶ宿」 茂山千五郎
- ◆喜多流 能「竹生鳥」女体 粟谷 能夫

チケット 10/1 発売予定

彦根城表御殿  
錦秋狂言の集い  
11月1日[日] 午後5時開演

正面席【A席】3,500円/脇正面席【B席】3,000円(全席指定)

- ◆大蔵流狂言「狐塚」 茂山七五三
- ◆大蔵流狂言「茶壺」 茂山あきら
- ◆大蔵流狂言「狸腹鼓」 茂山 正邦

※開演時刻・演目・出演者等は、変更することがございます。※チケットは、彦根城博物館受付および電話にてお求めいただけます。(発売日初日：窓口販売/午前9時～、電話販売/午前10時～)  
※未成年者の入場はお断りいたします。

## “ほんもの”との出会い

常設展

徳川譜代大名筆頭 井伊家伝来の名宝の数々

雅楽の伝統

彦根城博物館の展示は盛りだくさん。譜代大名筆頭・井伊家に伝来した大名道具を中心に、日本の美と歴史にせまります。伝来の名宝の中から展示品を順次入れ替え、次々に秘蔵の名品逸品が登場します。

幽玄の美

## シリーズ 直弼のこころ

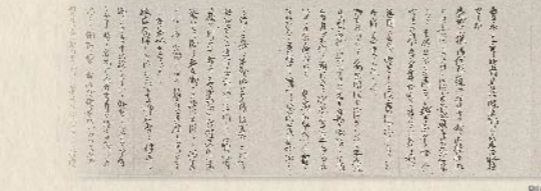
幕末に大老となった彦根藩主 井伊直弼。生誕200年の今年、その人物像を探ります。

テーマ展

### 「井伊直弼のこころ 一手紙にあらわれた人柄」

平成27年7月10日[金]～8月18日[火]

彦根藩主として、また大老として活躍した井伊直弼は、幕末の政治情勢や日々の暮らしについて、自らの考えをつづっています。本展では、手紙や意見書に残された彼自身のこころから、直弼の人柄を探ります。



別府存寄書下書(智恵)

### 企画展 「忠義の人 遠城謙道 -主君直弼への思いと禅画-」

平成27年8月21日[金]～9月15日[火]



画賛 遠城謙道 個人蔵

彦根藩足輕の遠城謙道は、井伊直弼が倒れた桜田事変後の幕府の対応に憤り、上訴を試みるも果たせず、出家して37年の長きにわたって直弼の墓を守り続けました。本展では、彼の生涯と数多く描いた画賛を紹介します。

特別展

### 「一期一会の世界 大名茶人井伊直弼のすべて」

平成27年9月18日[金]～10月20日[火]

江戸時代の代表的な大名茶人、井伊直弼。自作の茶書や茶道具を一挙公開し、彼が敬愛した千利休と片桐石州ゆかりの名品を併せて紹介します。茶の湯の本質を探求し続けて独自の世界を築き上げた茶人直弼の全貌を初めて明らかにします。

テーマ展

### 「学びの人 井伊直弼」

平成27年10月23日[金]～11月24日[火]

井伊直弼は、禅、国学、和歌、居合、兵学など、文武諸芸を学んでいました。本展では、生涯をかけて幅広くそして奥深く学び続けた直弼の姿を紹介します。

テーマ展

### 「井伊直弼の甲冑と刀剣」

平成27年11月27日[金]～12月23日[水・祝]

揃いの品一式を備えた鮮やかな朱色の甲冑に、江戸時代の名工による刀剣や拵。本展では、井伊直弼の武の出で立ちを一挙に公開します。

古文書が語る世界

数寄の世界

風雅のたしなみ

テーマ展

### 「天の美祿 一酒にまつわる美術」

平成28年1月1日[金・祝]～2月2日[火]

「天の美祿」とは、酒のすばらしさをほめたたえる酒の異名です。古来、人々は酒を愉しみ、またそれに関わる様々な美術作品を生み出してきました。賑やかな遊宴の様を描いた絵画や色鮮やかな酒器など、酒にまつわる品々で新春を彩ります。

特別公開

### 「弥千代の雛と婚礼調度」

平成28年2月5日[金]～3月8日[火]



弥千代の雛道具(一部)

井伊直弼の愛娘弥千代の雛と85件に及ぶ大揃いの雛道具を、弥千代の婚礼調度とともに公開します。

テーマ展

### 「近江ゆかりの工匠 一刀工・鐺師・鉄砲鍛冶」

平成28年3月11日[金]～4月12日[火]

近江の地では古くから刀や鉄砲の工人が活躍してきました。中には彦根を拠点に活動し、全国的に名を知られた名工もいます。本展では、館藏品の中から、近江ゆかりの工匠が制作した刀や鐺、鉄砲などの武具を、江戸時代の作品を中心に紹介します。



緋秋金象嵌火繩銃 徳川文庫兵衛充假

